

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	キッズサポートniconico(保育所等訪問支援)		
○保護者評価実施期間		2025年 12月 15日	～ 2026年 1月 7日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○従業者評価実施期間		2025年 12月 19日	～ 2026年 1月 5日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数) 3
○訪問先施設評価実施期間		2026年 1月 6日	～ 2026年 1月 13日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数)	3	(回答数) 3
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 1月 27日		

○分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・訪問支援を行う中で、子どもへの直接支援も大切にしているが、その後の担任や加配職員、主任とのカンファレンスや話し合いを大切にしている。	・園の状況に応じて、その日の日課に影響が出ないように配慮しながら訪問職員との話の時間を作っている。	・訪問開始時に職員と話せる時間を確認してうえで、子どもの支援を行うようにしていく。
2	・多機能型事業所として児童発達支援・放課後等デイサービスと保育所等訪問支援も併用して利用することが可能である。	・訪問先での課題を療育に取り入れたり、療育の様子を訪問先の職員にお伝えすることで、今後の対応や目標を共有しながら支援をしている。	・訪問先ともカンファレンスを開催する等、支援者が集まり情報共有できる場を作る。また事業所に見学に来てもらう等、療育の場の様子も見てもらえるような機会を提供する。
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・訪問支援員の支援の質を向上。	・支援が必要なタイミングでの適切な支援、また適切な助言等ができるようたくさんスキルを持つこと。	・利用児の特性をよく理解し、多様な支援方法を学び身につけていく。
2	・家族支援・ペアレントトレーニングを実施できていない。	・保護者支援のための専門的な時間枠の確保や体系的なプログラムの構築ができていない。	・ペアレントトレーニングや家族向けの研修の情報収集に努め、共有を図る。また研修以外でも、子どもとの関わり方のアドバイスとなる題材、情報等があれば共有し、必要とされる保護者に提供していく。
3			